

免疫学者・平野俊夫氏



平野俊夫・量子科学技術研究開発機構理事長

免疫学者の平野俊夫・量子科学技術研究開発機構理事長(73)が1日までに共同通信のインタビューに応じ、新型コロナウイルス感染症の命を脅かす重篤な肺炎は免疫の暴走が原因で、この仕組みに関するインターロイキン6(IL6)という物質を薬で抑えることで治療が可能になるとの見方を示した。

免疫の暴走抑える薬に期待
リウマチ薬、重症化患者に治験

新型コロナウイルス感染症に対する治療が世界で始まっている。感染が分かった人の2割が重症化しており「治療が成功すれば多くの人の死亡が回避でき、社会活動の再開も可能になるのではないかと期待を語った。

世界でさまざまな治療薬の候補が挙がっているが、平野氏は「2種類に分けて考えるべきだ」と指摘。一つは治療中のインフルエンザ治療薬「アビガン」のようにウイルスの増殖などを阻む抗ウイルス薬で、感染後の早い時期に投与し、悪化を防ぐことを目指す。

もう一つは感染が引き金となつて起きる免疫の暴走を抑える薬で、アクテムラもこのタイプだ。「こうした薬は感

染初期に使うと、ウイルスと戦っている免疫を抑えてしまふ恐れがある」といい、重症化した患者の死亡を回避するのには有効と期待される。治療の結果は夏から秋にかけて、相次ぎ発表されるとみている。

平野氏は「流行が終息に向かうには大半の人が感染するかワクチンを打つかして免疫をつける必要があるが、ワクチンではできるとしても早くても1年、通常2〜3年かかる」と推測、まずは治療薬で致死率を下げるのが現実的だとする。

「効果のある抗ウイルス薬ができれば重症になる患者はぐっと減る。それでも重症になる人は出るので、重篤な肺炎に対する薬は必要だ」と指摘した。

なまえ【 】

ひらの としお りょうしかががぎじゅつけんきゅうかいはつきこうりじちようしんがた かん
①平野俊夫・量子科学技術研究開発機構理事長は新型コロナウイルス感染症の重篤な肺炎の原因は何という見解を示しましたか。

ぼうそう げんいん しく かんよ
の暴走が原因で、この仕組みに参与するインターロイキン6(IL6)という物質を薬で抑えることで治療が可能になる。

ちりょうやく ぞうしよく はば くすり
②インフルエンザ治療薬「アビガン」のようなウイルスの増殖などを阻む薬を何薬といいますか。

やく 薬

じゅうしやうか かんじゃ しぼう かいひ ゆうこう きたい くすり なに
③重症化した患者の死亡を回避するのに有効と期待される薬は何ですか。

かんせつ ちりょうやく
関節リウマチ治療薬